

学校臨床心理学専攻

学校教育と臨床実践に関する科目

学校現場が抱える諸課題を臨床心理の立場から俯瞰し、事例研究等を交えながら具体的かつ深く学ぶ授業科目を開設。

学校教育に関する科目

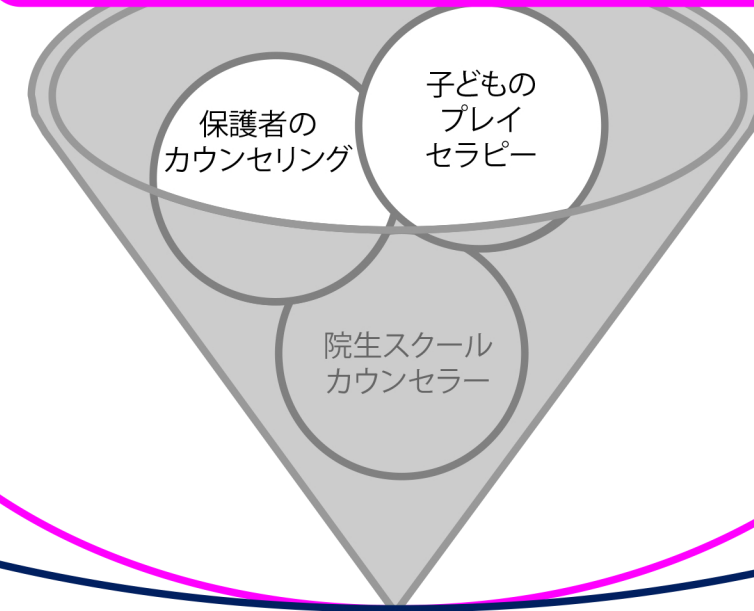
教育方法学、教育哲学、教育心理学等、理論を重視した教職に関する基盤的科目を、専修選択必修科目として開設。

臨床実践の基礎に関する科目

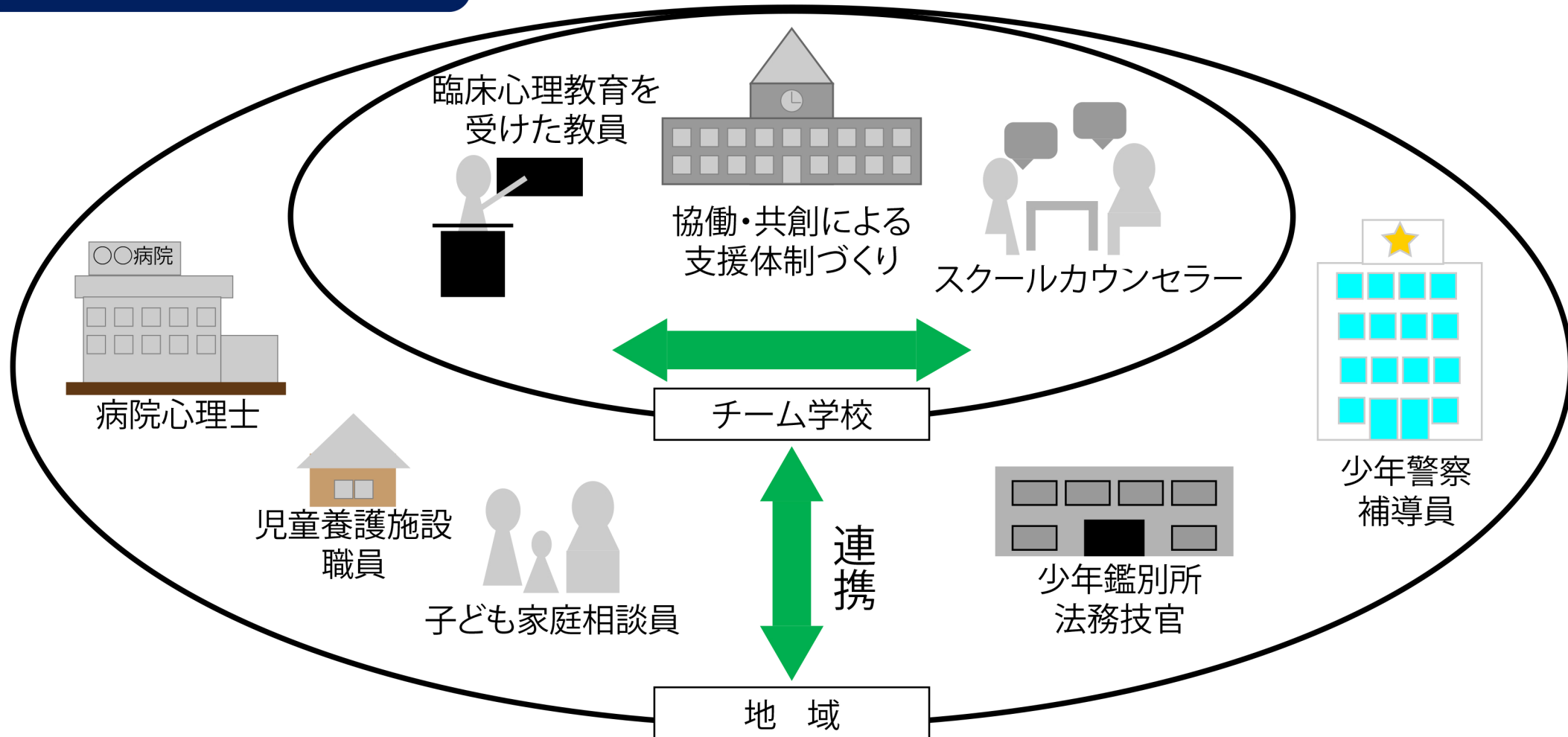
学校現場と他機関との連携を踏まえ、「チームとしての学校」の一員として学校に貢献できる人材を養成する科目を開設。

臨床研究に関する科目

高度な臨床心理学の理論、知識・技能の習得を図るための専門科目を開設。



地域に開かれた学校



教育課程編成の4本柱

現代の子どもたちの育ちと地域の人々を支えるために、臨床心理学的視点から学校・地域を深く理解する力を修得するための授業科目を開設。

理論と実践の往還

臨床心理実習により学校・子ども地域の人たちを「チーム学校」の一員として支える実践力を修得。

附属臨床心理センターにおける臨床心理実践 (臨床心理実習)

学内施設での実習と大学教員による個別指導により、臨床心理面接の基礎力を修得する。

学校や子どもに関わる施設における実習・活動 (大学外での実習)

学校や子どもに関わる施設での実習により、学校教員との連携や子どもを理解して支援する基礎力を修得する。

地域の支援にかかわる施設における実習・活動 (大学外での実習)

医療機関、精神保健機関、地域支援のNPO法人などでの実習により、地域を深く理解し学校外の機関と連携する基礎力を修得する。